



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 ICDAホールディングス株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 3184 URL http://www.icda.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)向井 弘光
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)黒田 悟郎 (TEL) 059-381-5540
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	12,030	6.5	249	0.2	243	1.9	156	△1.1
29年3月期第2四半期	11,297	3.5	249	△13.1	239	△11.4	157	△7.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 181百万円(17.0%) 29年3月期第2四半期 154百万円(△7.9%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第2四半期	74	29	—	—
29年3月期第2四半期	75	10	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	15,266	28.9	4,541	28.9	—	—
29年3月期	15,511	28.0	4,467	28.0	—	—

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,405百万円 29年3月期 4,338百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
29年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	26,000	8.1	738	34.2	700	30.1	470	34.0	224	21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	2,100,000株	29年3月期	2,100,000株
② 期末自己株式数	64株	29年3月期	64株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2,099,936株	29年3月期2Q	2,099,936株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成29年12月7日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定であります。なお、当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を受けて雇用情勢や設備投資の増加など景気は緩やかな回復基調が継続しております。しかしながら米国をはじめ各国の経済動向などによる国内経済への影響が懸念されるなど景気の先行きは不透明な状況が続いております。

自動車販売業界においては、EV・ハイブリッドなどの低燃費車の他、安全システム搭載車の発表・発売が続いており、各社間競争の激しい状況が続くものと考えられます。

このような状況下、当社グループは、平成29年1月にオープンした亀山市のオートモール(新車・中古車の複合商業施設)の他、中古車販売を支援するITを駆使した物流を開始いたしました。しかしながら、販売費及び人件費の増加及び亀山新店舗に係る設備費が増加いたしました。これらの結果、売上高は120億30百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益は2億49百万円(前年同期比0.2%増)、経常利益は2億43百万円(前年同期比1.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億56百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

セグメント毎の状況は以下の通りであります。

① 自動車販売関連事業

当セグメントにおきましては、新店舗効果はありましたが、N-BOXをはじめとする新型車の発売が9月に集中したため、モデル末期の車種が中心となり、新車販売台数は前年同期比5.4%増の2,354台にとどまりました。一方、中古車販売台数は、物流システムの見直し等により前年同期比15.2%増の5,088台となりました。これらの結果、売上高は116億85百万円(前年同期比6.4%増)となり、セグメント利益(営業利益)は3億12百万円(前年同期比9.0%減)となりました。

② 自動車リサイクル事業

当セグメントにおきましては、鉄・アルミ等の資源価格相場が緩やかながら回復傾向が継続しております。また、リユースパーツ販売を強化することで安定した売上を確保することが可能となりました。生産台数(再資源化処理)は前年同期比6.8%増の4,087台となり、使用済自動車の入庫が前年同期比28.8%増の4,239台となりました。これらの結果、売上高は3億44百万円(前年同期比8.5%増)となり、セグメント利益(営業利益)は57百万円(前年同期比101.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況の分析

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より2億44百万円減少し、152億66百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少79百万円、商品及び製品の減少88百万円、有形固定資産の減少1億26百万円等によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より3億18百万円減少し、107億25百万円となりました。これは主に、借入金の減少2億39百万円、買掛金の減少29百万円等によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より73百万円増加し、45億41百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1億56百万円、配当金の支払1億4百万円による利益剰余金の増加等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は5億46百万円(前年同期比7.6%減)となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は7億65百万円(前年同期比9.5%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が2億43百万円、減価償却費3億38百万円、たな卸資産の減少額3億71百万円等による資金の増加と、前受金の減少額69百万円、法人税等の支払額1億3百万円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は4億94百万円(前年同期比46.2%減)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出4億93百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は3億49百万円(前年同期409.2%増)となりました。これは主に短期借入金の増加額3億円による資金の増加と、長期借入金の返済による支出5億39百万円、配当金の支払額1億4百万円等による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通り推移していることから、平成29年5月15日公表の連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	706,238	626,703
受取手形及び売掛金	299,166	348,899
商品及び製品	2,643,274	2,554,384
仕掛品	1,853	2,092
原材料及び貯蔵品	29,629	32,143
その他	261,896	241,285
貸倒引当金	△380	△339
流動資産合計	3,941,678	3,805,169
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,573,366	3,457,806
土地	5,903,324	5,903,324
その他（純額）	1,066,901	1,055,836
有形固定資産合計	10,543,592	10,416,967
無形固定資産	57,730	57,933
投資その他の資産	968,036	986,370
固定資産合計	11,569,359	11,461,271
資産合計	15,511,037	15,266,441

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,605,166	1,575,529
短期借入金	4,441,478	4,654,479
未払法人税等	126,245	94,111
賞与引当金	148,770	151,616
その他	1,284,565	1,261,450
流動負債合計	7,606,226	7,737,187
固定負債		
長期借入金	2,419,306	1,966,833
役員退職慰労引当金	282,775	270,365
退職給付に係る負債	672,806	690,914
その他	62,241	60,040
固定負債合計	3,437,129	2,988,153
負債合計	11,043,355	10,725,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,078	1,161,078
資本剰余金	1,148,992	1,148,992
利益剰余金	2,045,996	2,097,013
自己株式	△107	△107
株主資本合計	4,355,959	4,406,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,832	34,499
退職給付に係る調整累計額	△37,873	△35,797
その他の包括利益累計額合計	△17,041	△1,298
非支配株主持分	128,764	135,421
純資産合計	4,467,682	4,541,099
負債純資産合計	15,511,037	15,266,441

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	11,297,198	12,030,404
売上原価	9,255,073	9,874,259
売上総利益	2,042,124	2,156,145
販売費及び一般管理費	1,792,962	1,906,366
営業利益	249,162	249,778
営業外収益		
受取配当金	3,323	3,829
受取賃貸料	5,809	5,700
受取保険金	5,803	40,900
受取負担金	4,651	—
その他	4,003	6,075
営業外収益合計	23,591	56,505
営業外費用		
支払利息	27,123	24,029
支払手数料	2,470	2,194
和解金	—	35,000
その他	4,107	1,485
営業外費用合計	33,702	62,709
経常利益	239,051	243,574
税金等調整前四半期純利益	239,051	243,574
法人税、住民税及び事業税	88,308	77,654
法人税等調整額	△10,403	529
法人税等合計	77,905	78,183
四半期純利益	161,145	165,391
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,435	9,377
親会社株主に帰属する四半期純利益	157,709	156,014

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	161,145	165,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,272	13,666
退職給付に係る調整額	2,042	2,201
その他の包括利益合計	△6,230	15,868
四半期包括利益	154,914	181,259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151,481	171,757
非支配株主に係る四半期包括利益	3,432	9,502

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	239,051	243,574
減価償却費	307,475	338,624
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,798	2,845
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,208	△12,410
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	27,742	21,261
受取利息及び受取配当金	△3,401	△3,861
支払利息	27,123	24,029
売上債権の増減額(△は増加)	△26,565	△49,733
たな卸資産の増減額(△は増加)	262,385	371,721
仕入債務の増減額(△は減少)	29,941	△29,636
前受金の増減額(△は減少)	141,659	△69,818
その他	△23,515	51,912
小計	983,487	888,511
利息及び配当金の受取額	3,401	3,861
利息の支払額	△27,333	△23,933
法人税等の支払額	△113,986	△103,105
営業活動によるキャッシュ・フロー	845,569	765,333
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	△20,000
定期預金の払戻による収入	20,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	△854,531	△493,370
投資有価証券の取得による支出	△23,559	△2,641
その他	△41,764	1,035
投資活動によるキャッシュ・フロー	△919,855	△494,976
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	500,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△461,991	△539,471
配当金の支払額	△104,877	△104,799
非支配株主への配当金の支払額	—	△2,845
その他	△1,849	△2,777
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68,717	△349,892
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△143,003	△79,535
現金及び現金同等物の期首残高	734,701	626,217
現金及び現金同等物の四半期末残高	591,698	546,682

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,979,872	317,326	11,297,198	—	11,297,198
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,142	15,466	23,608	△23,608	—
計	10,988,014	332,793	11,320,807	△23,608	11,297,198
セグメント利益	343,711	28,497	372,209	△123,047	249,162

(注) 1. セグメント利益の調整額△123,047千円には、セグメント間取引消去406千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△123,454千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,685,995	344,409	12,030,404	—	12,030,404
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,896	15,888	22,785	△22,785	—
計	11,692,892	360,297	12,053,190	△22,785	12,030,404
セグメント利益	312,730	57,446	370,176	△120,397	249,778

(注) 1. セグメント利益の調整額△120,397千円には、セグメント間取引消去△274千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△120,123千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。